

# 沿革

日本鉄筋継手協会のあゆみ	年度	鉄筋継手の開発及び法令・JIS等の変遷
	1950	ガス圧接法の研究が始まる
	1951	日本初の定置式鉄筋ガス圧接機開発
	1952	東京駅～神田駅高架線増設工事に初めてガス圧接を使用、帝都交通高速営団渋谷車庫土留め工事でガス圧接を本格的採用
	1963	
日本圧接協会設立 ガス圧接技量資格検定制度発足 ガス圧接技量資格検定制度試験が始まる 日本圧接協会が社団法人化 「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」策定 会報「圧接」を創刊 鉄筋のガス圧接部超音波探傷法に関する研究を発表	1964	JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) 制定
	1965	
	1966	
	1968	
	1970	1970年代に鉄筋の機械式継手・溶接継手の開発が始まる
	1972	JIS Z 3881 (ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準) 制定
	1975	JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) 第1次改正
	1978	
	1979	
	1980	JIS Z 3120 (鉄筋コンクリート用棒鋼ガス圧接継手の検査方法) 制定
	1982	日本建築センター「鉄筋継手性能判定基準」制定
JIS Z 3881 第1次改正に伴い、「ガス圧接技量資格検定制度」を改正 「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」第2次改訂	1983	JIS Z 3881 (ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準) 第1次改正
	1985	JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) 第2次改正
	1987	JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) 第3次改正
メーカーの異なる鉄筋の圧接試験を実施	1988	JIS Z 3062 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼ガス圧接部の超音波探傷試験方法及び判定基準) 制定 JIS Z 3881 (ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準) 第2次改正 日本建築センター「鉄筋溶接継手性能判定基準」制定
	1991	
異種鉄筋のガス圧接性試験を実施 第1回圧接管理技士資格試験を実施 「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」第3次改訂 つくば技術開発センター竣工	1992	
	1994	
	1996	JIS Z 3062 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼ガス圧接部の超音波探傷試験方法及び判定基準) 第1次改正
	1997	JIS Z 3881 (ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準) 第3次改正
	1999	
優良圧接会社認定制度が始まる 「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」第4次改訂 圧接及びその他継手の事業としての定款の変更 鉄筋継手部非破壊検査事業者認定制度が始まる 第1回鉄筋継手国際会議開催	2000	平 12 建告第 1463 号「鉄筋の継手の構造方法を定める件」公布
	2002	JIS Z 3881 (鉄筋のガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準) 第4次改正
	2003	
「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」第5次改訂 A級継手圧接施工会社認定制度が始まる 「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」第6次改訂 要員認証適合宣言の方針決定	2004	JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) 第4次改正
	2005	
	2007	
優良鉄筋継手部検査会社認定制度が始まる 日本圧接協会から日本鉄筋継手協会へ名称変更 優良鉄筋溶接会社認定制度が始まる 会報「圧接」から会誌「鉄筋継手」に変更 各継手の「鉄筋継手工事標準仕様書」改訂 登録鉄筋継手部検査会社認定制度が始まる	2008	
	2009	JIS Z 3881 (鉄筋のガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準) 第5次改正 JIS Z 3062 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼ガス圧接部の超音波探傷試験方法及び判定基準) 第2次改正 JIS Z 3120 (鉄筋コンクリート用棒鋼ガス圧接継手の試験方法及び判定基準) 第1次改正
	2010	
公益社団法人としての定款変更案を総会で承認 内閣府より公益社団法人の認定を受け、公益社団法人日本鉄筋継手協会に名称変更 優良溶接せん断補強筋製造会社認定制度が始まる 「鉄筋継手工事特記仕様書」を策定 JRJS 0008 (A級継手性能評価基準(案)) 策定 鉄筋継手に関する新 JIS 原案の作成	2013	
	2014	JIS Z 3881 (鉄筋のガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準) 第5次改正 JIS Z 3062 (鉄筋コンクリート用棒鋼ガス圧接部の超音波探傷試験方法及び判定基準) 第3次改正 JIS Z 3120 (鉄筋コンクリート用棒鋼ガス圧接継手の試験方法及び判定基準) 第2次改正